

2014年度 第2回 CPC 研究会

日 時: 6月13日 (金) 13:30 ~ 16:30

会 場: 連合会館 201 会議室

(〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 3-2-11 TEL: 03-3253-1771)

参加費: 維持会員・大学官公庁関係 = 無料 / 非会員 = 15,000 円

<http://cpc-society.org/>

13:30 ~ 14:55

「ナノ炭素関連技術の特許出願動向」

特許庁 星 功介 氏

- 1) 特許出願技術動向調査の紹介
- 2) 調査対象技術
- 3) 特許出願動向
- 4) 研究開発動向
- 5) 市場動向
- 6) まとめ

特許庁では、社会的に注目されているテーマ、今後の進展が予想されるテーマ等を選定して、特許出願技術動向調査を実施しています。平成 23 年度に「炭素材料とその応用技術」について特許出願技術動向調査を行いましたので、調査対象技術の中のナノ炭素関連技術を中心に、国内外における特許出願動向や研究開発動向、市場動向の調査結果を報告します。

15:05 ~ 16:30

「機器分析を用いたリチウムイオン二次電池の劣化解析

～ 抵抗増大の要因とは？ ～

株式会社東レリサーチセンター 林 栄治 氏

- 1) はじめに
- 2) 正極材料由来の抵抗増大に関わる要因分析
- 3) 負極表面での SEI 膜分析(負極の抵抗増大の要因)
- 4) 電解液の分析(SEI 被膜形成に関与する要因)

リチウムイオン電池の性能向上のためには、なぜ劣化するのかという原因を探る必要があります。現在までに、劣化要因として正極最表面及び負極界面に焦点があてられています。また電解液自体もこの劣化に関与していることもわかりつつあります。これらを要点よくまとめ、ご紹介致します。

また劣化の原因を探るためには、様々な機器分析を駆使してマクロ的、ミクロ的な観点かアプローチが必要です。リチウムイオン電池に用いられる各種分析手法についても出来る限り多くの事例をご紹介致します。

CPC 研究会講演会事務局行 FAX: 029-861-8712 または e-mail: sec@cpc-society.org

6月13日の研究会に出席します(連合会館 201 会議室)

お名前: 維持会員 非会員 大学関係

ご所属:

Tel:

Fax:

E-mail: